



この樹どんな樹? 見に行こう! / 善福寺川緑地のユリノキ
みどり探訪 / 蓋寺のイチョウ
緑の歳時記 / ブラジルコミカンソウ
みどりの窓 / 「みどりのボランティア杉並」会員募集
特集 / 新しい「ばーくまっぷ」完成
「落ち葉感謝祭2012」開催
園芸ワンポイント / イチゴ

この樹どんな樹? 見に行こう!

善福寺川緑地の ユリノキ (百合の木)

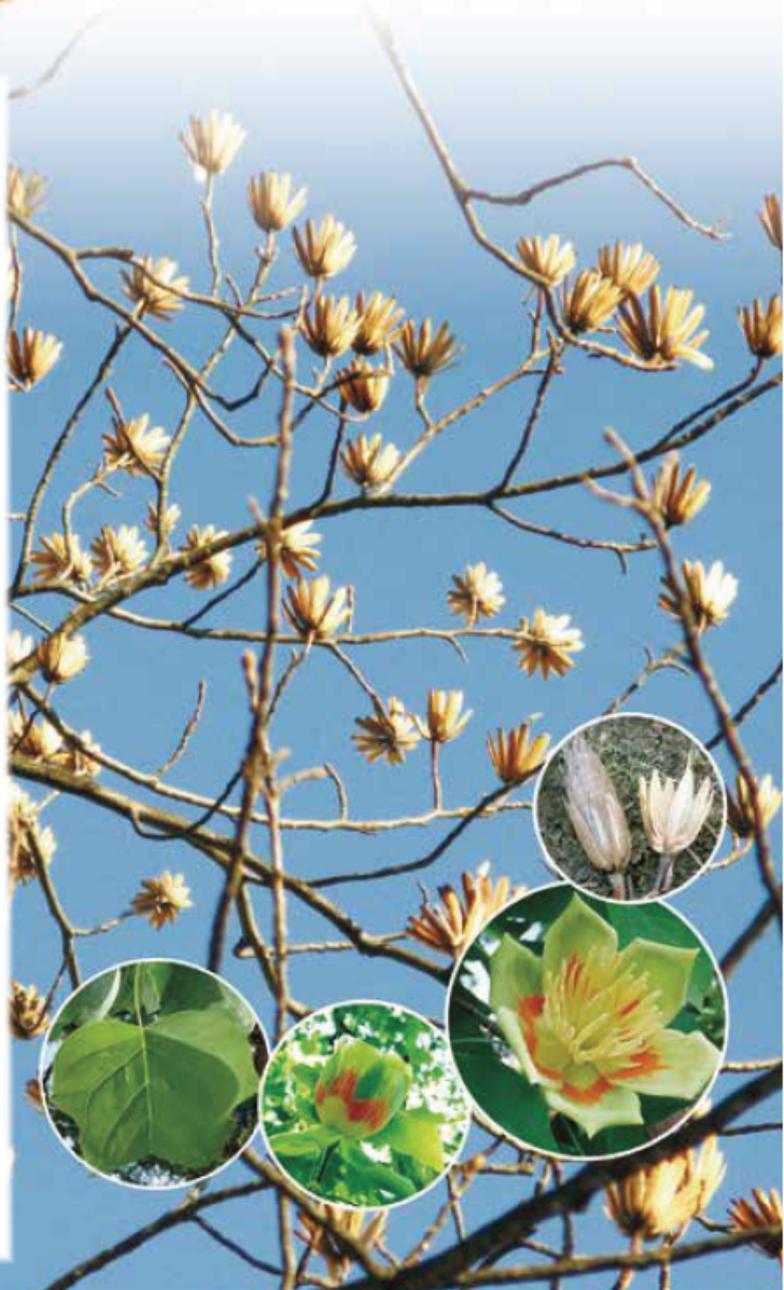
ユリノキ(モクレン科)をご存じですか? 20m以上の大木になり、チューリップに似た緑黄色の花径が5~6cmの大輪の花を5~6月につける木です。

葉にも特徴があり、^{まんてん}半鐘の形に似ていることからハンテンボクとも、また花の形からチューリップツリーとも呼ばれています。冬にはプロペラ状の種が集まって、茶色の花のように見えます。幹には網目の模様があります。

ユリノキの原産地は北米で、明治初期に日本へ渡来しました。明治23年、大正天皇が皇太子の時に小石川植物園へ来園された際、この木を見てユリノキと命名されたと言われていいます。成長が速く、柔らかいことから、先住民は丸木舟を作ったそうです。

このユリノキが一目で20本以上も見られるのは、都立善福寺川緑地の白山前橋近くのヒコーキ広場です。近くの川沿いにも何本もあります。

5~6月、ぜひ目を空に転じて、ユリノキの驚く程にすばらしい、大きな花に出会ってみませんか。



みどり探訪

釜寺のイチョウ



▲イチョウ



地 下鉄方面町駅から徒歩5分くらい、神田川の上水橋近くに、東運寺というお寺があります。この辺りは遺跡も出土されるような場所で、神田川より小高い丘になった所です。

お寺の山門を入ると左に石段があり、本堂の屋根に大きな釜が乗っているのが目に入ってきます。そのため、このお寺は通称「釜寺」と言われています。この釜は、安寿姫と厨子王丸が山椒大夫に釜ゆでにされそうになった時に、地蔵菩薩が身代わりになったという伝説の「釜」だそうです。

石段を上った境内の右手には、四百年の屋霜を経た、かつてはランドマークにもなっていた幹周り3mあるイチョウがあります。残念ながら、空襲で木の片側が焼けてしまい、現在は残った部分が再生し、樹高9mぐらいになっています。生命力の強さを感じさせるイチョウです。

そのほか、高さ10mもあるサザンカや、ウルシ科の孔子木ともいわれる楷木など珍しい木があります。

移築した山門は、浅野内匠頭が切腹させられた田村屋敷の門です。4月8日の花祭りには、身代わりになったといわれている地蔵菩薩像の開帳もあるそうです。

生命力の強いイチョウをはじめ、様々な樹木を見るのと同時に、歴史も訪ねてみてはいかがでしょうか。

緑の歳時記 区内でよく見かける帰化植物

ブラジルコミカンソウ (ブラジル小蜜柑草)

トウダイグサ科/インド洋諸島原産の一年生草本

別 名ナガエノコミカンソウ(長柄の小蜜柑草)とも呼ばれ、全体が無毛で、茎は紫色を帯び直立し、高さ10~70cmになります。

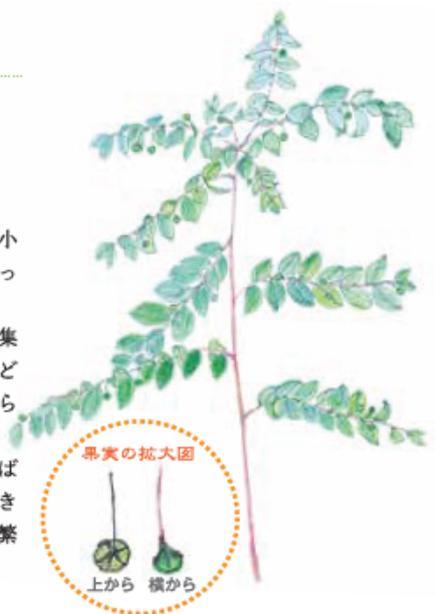
枝はまばらに水平方向に出ます。葉は長さ約1cmの先が尖った広卵形で、裏面はやや白色で短い柄があり、互生します。

夏から秋にかけて葉腋に5mm程の柄のある淡黄色の花(雌雄異花)を1~数個下向きに付けます。

果実は直径2mmの球形で、この小さな実の中に1mmの種子が6個入っています。

1992年に福岡県ではじめて採集され、その後、愛知県、千葉県などで発見され、現在では関東地方から九州地方まで帰化しています。

区内では個人の庭をはじめ、道ばた、線路ばたで多く見ることが出来ます。日本国内では毎年種子から繁殖しているようです。



「みどりのボランティア杉並」第9期会員募集!

長寿応援ポイント「地域貢献活動」対象事業

みどりのボランティア杉並は、地域緑化に関するボランティア活動を始めようとする方の、きっかけの場です。会員は生活者の視点を大切にしながら、仲間と一緒に区内のみどりを守り、増やし、育てる活動を行います。

どんな活動をするの?

区が活動内容を示すだけではなく、毎年度初めにボランティアの方々同士で話し合い、活動内容を考えていただきます。

現在はいこいの森や公園の維持管理、樹名板作り、中学校の園芸部の補助、本紙「みどりとひと」の発行など、みどりに関する活動を行っています。

いつ活動するの?

活動日は活動内容に合わせて決めていただきます。

屋外での活動・話し合いは平日の昼間がほとんどですが、土曜日の活動もあり、都合に合わせて平日・休日どちらも活動が行われます。

活動の頻度は月3回程度です。

「花咲かせ隊」や「公園育て組」とは違うの?

活動内容や場所が決まっている「花咲かせ隊」や「公園育て組」とは異なり、みどりのボランティア杉並は活動内容が多岐にわたり、活動場所が一つではないことが特徴です。

活動までの流れは?

- ① まずは、ご応募下さい!
 - ▶ 登録資格 区内在住・在勤・在学の方、または区内に活動場所を希望される方で、次に該当する方
 - ①無報酬で活動できる方
 - ②みどりに関心を持ちボランティア活動に理解と意欲のある方
 - ▶ 登録期間 平成25年4月～27年3月(原則は2年間、1回に限り更新できますので、最長4年間登録できます。)
 - ▶ 申込方法 ハガキ・FAXで、住所・氏名・連絡先と「みどりのボランティア杉並 参加希望」と書いて、みどり公園課みどりの計画係へ(「問い合わせ先」参照)
 - ▶ 締 切 平成25年3月11日(必着)
- ② 3月末～4月上旬に、説明会・登録のご案内をお送りいたします。
- ③ 4月に説明会を開催します。説明会終了後、登録用紙に記入いただき、登録完了です。(説明会に参加できない場合、資料をお送りいたします。)
- ④ 4月下旬～5月上旬に活動がスタートします!

【問い合わせ先】

みどり公園課みどりの計画係
 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1
 Tel: 03-3312-2111 (代表)
 Fax: 03-5307-0697



園芸部(向陽中学校)の補助を行っています。

新しい『ぱーくまっぷ』を持って、知らない公園に行ってみよう!

新しい杉並区公園マップ「ぱーくまっぷ」が1月に出来上がりました。

「家の近くにこんな公園があったんだ」「今度この公園に行ってみよう」とこの地図を片手にお出かけしてみたいはかたがぜひ、ご覧ください。

区役所みどり公園課、杉並児童交通公園、大田黒公園、蚕糸の森公園、馬橋公園、柏の宮公園、塚山公園および井草森公園等の各公園管理事務所に置いてあります。

「落ち葉感謝祭2012」を開催しました!

昨年あいにくの雨で中止になった「落ち葉掃き」ですが、今年はお天気に恵まれ、12月1日の「落ち葉掃き」には延べ200人の方にご参加いただけました。

井草森公園では、毎年恒例の剪定枝工作やリース作りなどの催しが行われ、さらに今年は「落ち葉プール」が復活。

ふかふかの落ち葉の中で楽しそうにはしゃいでいる子ども達の姿が見られました。



後世にのこしたい杉並の屋敷林

中間報告

前号(No158)で募集しました「後世にのこしたい杉並の屋敷林」について、延べ61人の方から82か所のご推薦をいただきました。

多くの方からご応募いただき、どうもありがとうございます。ご推薦いただいた屋敷林から表彰地を選考し、広報すぎなみ等で皆さんにお知らせする予定です。

みどりの相談所の先生に聞く



みどりに関する相談は 塚山公園みどりの相談所

☎03-3302-9387

杉並区下高井戸5-23-12

毎週土・日曜日 午前9時～午後4時30分

休所日: 年末年始(12/29～1/3)



甘いイチゴを作るには | パラ科

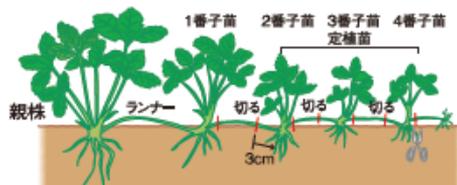
植物は光合成によって糖を作ります。糖は果実を甘くしたり、一部を生育に必要なアミノ酸を作るのに使います。イチゴを甘くするには、有機質肥料(魚粉、油かす骨粉、完熟堆肥等)を与えてアミノ酸を補い、多くの糖が果実に集まるようにします。



生育の適温は17～20℃です。開花前後に5℃以下の低温や35℃以上の高温になると、花が枯れたり、奇形果が出たりします。

甘みの強い「とちおとめ」^{あまひめ}「草姫」「さちのか」等の品種を選ぶのも良いです。

子苗の採取

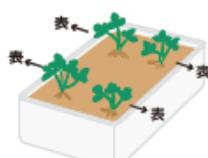


定植



ランナーを土中に刺すように浅植えにする。古い葉、枯葉は切り取る。

苗の植え方



ランナーの切り口を容器の内側に向けて植える。花房は外側に揃って出てる。植幅は15～20cm

●苗を育てる

果実の収穫が終わる頃に発生してくるランナーから出た子苗を育てます。

●採取・定植

ランナーから切り離した子苗の2番目から4番目の葉の3～4枚ついたものを育てます。

植付けは深植は避け、葉の付け根(クラウン)が少し隠れるくらいの浅植えにします。

●栽培容器

深さ10cm以上の深めのプランター、発砲スチロール箱、6号以上の上の鉢が適当です。

●培養土

通気、排水が良好で有機質を多く含んだ、赤玉土と堆肥または腐葉土等の割合が6:4くらいが適当です。

●肥料

生育初期より後期の方が肥料の吸収が多いので、元肥に緩効性の肥料を施しておきます。

苗が根付いたら追肥をします。11月上旬～中旬頃と2月下旬～3月上旬頃に化成肥料を1株に一つまみ程を与えます。

また、苗の生育状態を見ながら、灌水を兼ねて薄めの液肥を与えます。

●水やり

イチゴは乾燥に弱いので適潤の水やりとモミガラ等でマルチングをして乾燥を防ぎます。



●収穫

開花後35～40日で赤くなり、収穫できます。

●年間管理表

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生育状態		花芽形成	開花	収穫	ランナー子苗発生	生育				花芽分化始まり		
定植												
肥料		化成肥料								化成肥料	液肥	
水やり					乾燥に注意して							やりすぎないように

編集後記 「みどりとひと」は、みどりのボランティアと協働で編集しています。

- 寒い冬の間にも、花や芽の準備をしっかりとっている木々連に頭が下がりますね。(原)
- 「笠寺の 山門ぬけて イチョウかな」歴史もたどれる散歩(石)
- 枯れ木が目立つ冬。しかし枝々には寒風に負けじと毛皮や革ジャンを着込んだ冬芽がずくずくと、春はもうすぐそこです。(羽)
- 厳しい寒さにもめげず、ヒラギナンテン、アセビ、ヒュウガミズキの花芽が日増しにふくらんでいます。春の来るのが待ち遠しいですね。(山)
- 冬だから寒いのは当たり前と言っても、この冬の寒さはほんとに厳しい。春がくるまで熊のように冬眠したいと思う毎日です。(朋)
- 今年の冬はここ数年にくらば寒さがきびしく春の花が待遠しい。(茂)
- 春の日のため、土の中では球根や根が頑張っています。応援しています。(大)
- 善福寺川を中心にみどりが一杯、緑被率の高さに比例して取材意欲が湧いてきます。(中)



みどりの新聞 みどりとひと159号 平成25年2月20日発行

編集/みどりのボランティア

編集・発行/杉並区都市整備部みどり公園課 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎03-3312-2111

「みどりとひと」は区ホームページでもご覧いただけます。http://www.city.suginami.tokyo.jp/

